

I Love Churui

I ♥ ちゅうるい

10・11

2019 Vol. 527



長いも生産委員会は11月1日より長いもの収穫を開始しました。

## Contents

農協法公布記念日にあたって	2
菜の館ベジタ閉店イベント開催	3
とかち大収穫市うまいもん祭り	
令和元年度農事組合長視察研修	4
令和元年度役員視察研修	6
第10回理事会	7
第24回忠類どんとこいむら祭り	
管理部職員紹介	8
JAグループ通信	9
普及センター技術情報	10
生乳生産状況表	11



<http://www.ja-churui.com>





# 農協法公布記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



本年九月三十日、本会は平成二十七年の農協法改正に伴い法律上の位置付けを連合会に移行しましたが、名称は変更されず、事業としても会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されているため、今後も引き続き、中央会が果たすべき基本的な機能であるJ Aグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJ Aをサポートして参りますので引き続きご支援、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

さて、昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で72年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

総合事業を展開しながら安全・安心な農畜産物の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する信用事業、総合的な暮らしの保障のための共済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、環境問題や子供の貧困問題などへの取り組み等、地域社会に貢献するための様々な社会的取り組みも行なわれております。

また、昨年の北海道胆振東部地震のように大規模災害が発生した際には、組合員・J A・連合会等の間における農業機械・発電機等の融通や、被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受入、協同組合間による募金活動など、組織内・外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動によって、被災地域の復旧・

復興支援に大きな役割を果たしているところであります。

このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘って多くの分野でその役割を発揮してきています。

そのような中、「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、更に昨年4月には、我が国の農協、漁協、生協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によって力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構（JCA）が発足したところです。

昨年開催した第29回J A北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」を継承し、「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」と「次代につなげる協同組合の価値と実践」に向けて、J Aグループが一体となって取り組むこととしております。

J Aに集う組合員、役職員の皆様は、競争ではなく共生の社会を創り出す社会システムのひとつとして世界的に評価され、その価値と役割を高め始めている協同組合の仲間であることを誇りとしながら、対話運動の実践を通じて、信頼と絆を土台にした新たな協同組合の価値創造と、食と農でつながるサポーター550万人づくりによって、協同活動の輪を広げて頂きたいと考えております。

このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、持続可能な農業と地域社会へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、J Aグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様から夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJ Aの発展に全力でサポートすることを誓い申し上げます、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。





JA忠類農畜産物直売所「菜の館ベジタ」の今年度の営業が、令和元年十一月十日（日）をもちまして終了となりました。

最終日には、店舗駐車場できっちゃんカーなどがタピオカドリンクやオムライス、たこ焼き、焼きそばを販売した他、地元産の野菜をふんだんに使った豚汁を来場者へ振る舞いました。また、「乳製品消費キャンペーン」として牛乳の無料配付も行い、多くのお客様に

今年度の営業が終了いたしました  
JA忠類農畜産物直売所「菜の館ベジタ」



喜んで頂けた事と思います。生産者さんのご努力のおかげで夏頃には多くの野菜が出荷され、年に数回開催したイベントでも多くのお客様にご来店頂きました。

平成十九年にオープンし、今年で十二年を迎えた「菜の館ベジタ」ですが、地元の方をはじめ、近隣市町村やキャンプ等に訪れた遠方からのお客様にも立ち寄っていただける店になり、地域に根付いた直売所となってきたように思います。

第25回とかち大収穫市  
うまいもん祭り

十一月十四日から十九日の日程で藤丸にて第二十五回とかち大収穫市うまいもんまつりが開催されました。

本年度は十勝18市町村の特産品が一堂に集まり、十勝管内の魅力溢れる農産物をはじめ、様々な十勝の人気商品が並びました。

忠類ブースではゆり根と長いもの販売をし、沢山のお客様にご来場頂きました。



お天気カレンダー

気象予報士株式会社ハレックス ● 檜山靖洋

天からの手紙

12月7日は二十四節気の大雪（たいせつ）です。平野部でも本格的に雪が降り、積もり始めるころです。雪の降り始めの季節は、雪国でも雪道での事故が起こりやすくなります。十分に注意しましょう。

ところで、雪の結晶を見たことがありますか？ 実は、スマートフォンのカメラがあれば、簡単に雪の結晶を写真に撮ることができます。スマートフォンで最大ズームにして接写すれば、絵や図鑑と同じような雪の結晶を撮影することができます。ぜひ試してみてください。

雪の結晶にはいろいろな形があります。六角形や、樹枝状、板状、針状などさまざまです。これらの形は上空の気温や水蒸気の量により決まります。逆にいうと、雪の結晶を見れば雪の粒が生まれた空の状態が分かるため、「雪は天からの手紙」といわれます。「天からの手紙」の写真を使い年賀状など年始の手紙を作るのも良いですね。







## 平成三十一年度農事組合長会視察研修を実施

十月二十四日～二十五日の一泊二日の日程でJA蛭原組合長、農事組合長（下川暢宏会長）七名で管外視察研修を実施した。

初日は、札幌市内にある「よつ葉乳業株式会社本社」にて、「最近の酪農情勢及び生乳の需給動向について」管理統括部総務広報グループ部長の東原氏より説明を頂いた。

過去二十一年間で、全国の生乳生産量は15%程度減少しており、北海道は伸長しているが、都府県が大きく減少している。  
また酪農家戸数は、生乳生産量以上に減少している一方、酪農家一戸あたりの経産牛頭数や経産牛一頭あたりの乳量は増加している。これは、酪農家の大規模化が進んでいることが大きな要因となる。



平成三十年度における日本の乳製品の総需要量約1,230万トン、うち、国産は730万トン、輸入は500万トン。チーズの消費は拡大しているものの、国産チーズは横ばいに対し、輸入チーズが拡大している。

都府県では、供給量よりも需要量が多いため、不足する生乳は北海道から移出している。しかし、台風等の災害により移出手段が影響を受けると、都府県で牛乳が不足する

等の事態が現実に発生しているため、北海道の酪農は全国の消費者にとって大きな支えとなっていることを実感することができた。

次に、「北海道警察本部」を視察。実際に110番通報を受理している「通信指令室」の様子や、信号機の管理・制御を行っており、交通情報の分析・情報提供システムを構築している「交通管制センター」を拝見することができた。

二日目は、千歳市内にある「北海道キッコーマン株式会社



社千歳工場」にて、工場見学を行った。

「醤油」の歴史や製造ラインを見学させて頂いた。醤油の原料である小麦は100%国産を使用しているが、安定した製品を作る上で大豆はたんぱく質の量が重要なことから、輸入大豆を使用する年もある。

また、この工場から出た「醤油粕」が、忠類の酪農家でも牛の飼料として供給されている。

最後に、恵庭市内にある



「エム・エス・ケー農業機械株式会社本社」にて、「最先端技術の農業機械の視察」ということで『AGCOMMAN D（アグコマンド）』というシステムについてサービスマン本部技術部サービスマンリーダーの鈴木氏より説明を頂いた。

このシステムは、トラクター等にGPSを取り付けることでグーグルマップに反映させ、詳細な位置だけではなく、トラクターの稼働状況や作業内容によるエンジン回転数・PTO出力の表示、デフレック・ロアリンクの作動状況までもがパソコンの画面上でリアルタイムに確認することができるとのこと。今後は、ディーラーとのやり取りはもちろんのこと、機械のトラブルによる停車時間の短縮や修理対応の効率化を目的として全国展開を検討しているとのこと。

忠類のコントラクターの堆肥散布で稼働しているトラクターにアグコマンドを試験的

に取り付けており、実際のシステムの運用を拝見することができた。

このようなシステムを導入することにより、時間短縮等による人件費の削減等にもつながることを期待したい。

商品倉庫には、トラクターや作業機械が未組みの状態で格納されており、大半は販売先が決まっている。

以上、研修期間中大きなトラブルもなく、参加者同士の懇談も含め有意義な研修になった。



## キッチン防災術

### パッククッキング

透明または半透明のプラスチックの袋のことを、ビニール袋とか、ポリ袋とか、ナイロン袋といいます。

ポリ袋の材料には、ポリエチレン、ポリプロピレン、そしてビニール袋の語源となったポリ塩化ビニール、ナイロンなどがあります。このうちポリ塩化ビニールは燃やしたときにダイオキシン類が発生することがあり、一般家庭用では使われなくなりました。

現在はほとんどがポリエチレンかポリプロピレンで、そのうち家庭でなじみが深いのはポリエチレンです。大きく分けて高密度と低密度の2種類があります。低密度は透明で柔らかい物で、耐熱温度は低く70度から90度程度、調理には向きません。高密度は半透明でカサカサしていて、耐熱温度が90度から110度程度です。ポリ袋に入れたまま加熱したいときには、耐熱性の高密度ポリエチレン袋がお勧めです。

ポリ袋を使って行う調理は「パッククッキング」と呼ばれ、袋の中に調理したい食材を入れて熱湯でゆでます。水が直接食べ物に触れないので、きれいな水が入りにくい災害時にも活躍しそうです。パック

食文化・料理研究家 ● 坂本佳奈

クッキングでは水が蒸発しにくいので、水分はごく少なくて構いません。ご飯を炊くこともできて、1合（150g）に対して120gの水を入れ、空気を抜いて縛ります。20分ゆでて10分そのまま蒸らしたら出来上がり。炊きたてのご飯を袋に入れたまま持つと硬いように思いますが、袋を開けてほぐすと普通のご飯になります。グツグツと煮立てない分、米の香りが立つ炊き方です。

パッククッキングには必ず耐熱性の食品用ポリ袋を使ってください。野菜などは自分の持つ水分で火が通りますので、塩を少々まぶして袋ごとゆでると良いでしょう。空気をよく抜くのが上手に調理するコツです。鍋底に当たると袋の耐熱温度を超えてしまうことがあるので、鍋底には皿または網を敷きましょう。







# 役員道内視察研修を実施

令和元年十一月十二日～十三日にかけてJA忠類役員道内視察研修を実施致しました。

## ■JA北海道大会実践フォーラム

JA北海道中央会中央会会長を大会長に各連合会役員、各地区組合長、会長・青年部・女性部の全道組織会長が大会運営委員となり、昨年開催した「第二十九回JA北海道大会」の決議事項の実践事例や課題等を共有することを目的としたフォーラムとなっており全道から約1,000人が参加しました。大会実行委員長を務めるJA中央会の飛田稔章会長より開会にあたり挨拶をいた



きフォーラムが開催されました。

はじめに基調講演として日本経済新聞社の吉田忠則氏より「農業の未来と農協への期待」と題して都府県の事例を中心に、農業・農村の新たな活動や可能性などを紹介されました。次に情勢報告として「農協改革をめぐる情勢・動向と農協に期待すること」について農林水産省経営局協同組織課長の日向彰氏より、農林水産省がまとめた農協改革の進捗状況に関する総括と農協組織に対する今後の期待を表明されました。

事例発表では、第二十九回大会の議案第1号の「農業所得の増大と多様な担い手の確保育成」に関し、J

Aこしみずにおける地域での連携・協同した労働力確保について、JAこしみずの渡部営農部長が報告し、農家戸数の減少が最終的に町の衰退につながることから「農家戸数をこれ以上減らさない」を目標に掲げ労働力確保の重要性を述べられていました。

議案第2号「次代につなげる協同組合の価値と実践」に関して、道内JAにおける准組合員との関係づくりに向けた取り組み事例をJAさつぼろの丸岡専務、JAふらの山岸常務、JA道中央会の高橋参事がそれぞれ報告し、年々増加傾向にある准組合員が農協制度の目的・趣旨を理解してもらっただけでなく、准組合員の意見を事業に反映させることの必要性を述べられていました。



事例発表の様子

■税理士法人松井一晃事務所訪問  
松井一晃事務所の税理士の中西正志氏より「農家の事業継承における留意点と今後の税制改正について」をテーマとして講演をしていただきました。会場を移動し座学形式での講演では経営移譲をする上での概要や必要手続き、各種資産の基本的な取扱いについて実際の事例を交えて具体的に説明していただきました。また、本年十月一日より実施された消費税率引上げと軽減税率制度についての説明もしていただき、主に税率が適用となる生産販売品やインボイス制度について説明を受けました。



中西氏による講演の様子



## 第十回 理事会

開催日 令和一年十月二十二日

### 付議事項

- 議案第一号 経理規程の改正について
- 議案第二号 内部監査規程の改正について
- 議案第三号 仮決算及び期末見込みについて
- 議案第四号 資金借入希望者の取扱い承認について（利益相反取引）
- 議案第五号 役員視察研修の実施について
- 議案第六号 平成三十肥料年度 系統化学肥料特別対策の取扱いについて
- 議案第七号 大家畜特別支援資金融通事業の申請について

### 報告事項

- 一、農作物生産動向および生育状況並びに生乳生産状況について
- 二、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入）の配分報告について

- 三、畜産ICT事業および楽酪GO事業の配分報告について（一回目要望分）
- 四、特定組合員の九月末組合員勘定実績について
- 五、流動性カバレッジ比率について
- 六、「キヤッシュレス・消費者還元事業」への参加について
- 七、組合員異動報告について
- 八、役員員コンプライアンス研修会並びに意見交換会の実施について

## 第24回 忠類どんとこいむら祭り

十月二十日（日）に道の駅忠類を会場に「第二十四回どんとこいむら祭り」が開催されました。

会場では午前十時より全店販売開始され、忠類和牛の焼肉をはじめ、ゆり根・乳製品販売・農協職員によるポテト・ゆり根コロッケ・どろぶたメンチカツが販売され、JA青年部のタピ

オカ飲料・無料バター作り体験を出店しました。

ステージではナウマン太鼓演奏会をはじめバンド演奏・浅井未歩さん・水田竜子さんによる歌謡ショーが行われ観客は大変盛り上がりしていました。

その後、会場では抽選券でお楽しみ抽選会が行われ、豪華景品のプレゼント、最後には毎年恒例の餅まきが行われ、本年度のどんとこい村まつりも大盛況となりました。



## 数独



**二重枠に入った数字の合計はいくつ？** 出題●ニコリ

### ルール

- (1) 空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
- (2) タテ列（9列）、ヨコ列（9列）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つ）のいずれにも1から9までの数字が1つつ入ります。

□

9	8	3	5	7	2	①	4	6
7	2	1	8	6	4	3	9	5
5	6	4	3	1	9	2	7	8
2	4	9	7	5	1	8	6	3
6	1	5	4	8	3	9	2	7
8	3	7	2	②	6	5	1	4
4	9	2	6	3	5	7	8	1
3	7	6	1	2	8	4	5	9
1	5	8	9	4	7	6	3	2

答え 10

8			7					
		1					9	5
			3			2		
	4	9			1			
6								7
			2				5	1
		2			5			
3	7					4		
				4				3





# 令和元年幕別町新規就農者認定証授与式

十月二十七日、ナウマン温泉ア  
ルコ236にて令和元年幕別町新  
規就農者認定証授与式が開催され  
ました。

この授与式は、幕別町にて新規  
就農を目指す方々が、幕別町農業  
公社の事業となる「まくべつ農村  
アカデミーフロンティアコース」  
へ入校。研修期間二年〜三年の研  
修を優秀な成績で終了された方に  
認定証を授与し、農業者としての  
門出を祝う催しです。

今年、は幌内農事組合 野坂幸市さ



出席された来賓の方と記念撮影



認定証を受け取る井上さん

んの農場にて実習、新生地区で新  
規就農された、井上洋平さんが、  
平成三十一年三月に卒業し、認定  
証授与となりました。

授与式では、幕別町長 飯田晴義  
氏より認定証を授与、主催者とし  
て挨拶後、認定証を受け取られた  
井上さんより、謝辞と今後の営農  
に対する力強い抱負が述べられま  
した。

その後、来賓として出席され  
た、十勝農業改良普及センター十  
勝南部支所宮部支所長の乾杯の発  
生により昼食会が行われ、忠類農  
協山内参事の締め挨拶により閉  
会致しました。



## 井上 洋平さん

井上さんは野坂幸市さんの農場にて実習  
をし、今年の4月に新生地区で新規就農を  
しました。  
主な生産物はゆり根となります。

## 職員紹介 (管理部)

先月号に引き続き今月は管理部を紹介させていただきます。

### 管理部 内部監査室

- 前列左から
- 山内 信博 (参事兼務理事)
- 山根 芳博 (管理部長兼内部監査室長)
- 後列左から
- 高野 好子 (出納担当)
- 古川こずえ (経理担当)
- 坂本 浩美 (管理課長)
- 原山 秋子 (内部監査士)
- 遠藤 正明 (審査課長)





## JAグループ通信

JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業



新せう、大地と希望のみらい。JAグループ <https://img.ja-group.jp/>

### JA北海道中央会

北海道農業協同組合中央会は平

成27年の農協法改正により、令和元年9月30日をもって法律上の位置付けを、農業協同組合連合会に移行しました。改正法では、名称は変更しないことが認められ、事業としては会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されており、法律上の位置付けは変わるものの、中央会が果たすべき基本的な機能は変わらないと認識しております。

組織変更に伴い、9月30日に本会役職員に對して飛田会長より訓示を致しました。訓示の内容については、「JA北海道中央会」のYouTubeチャンネルよりご覧いただけます。

今後も引き続き、JAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートする役割をしっかりと果たして参ります。



### JA共済連北海道

JA共済連北海道は、平成20年

より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取組んでいます。街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に実施しております。今年度も札幌地区では9月27日に約50名で共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全を呼びかけました。



### JA北海道信連

10月5、6日、アクセスサッポロ

で開催された、こどものみち「ミニさっぽろ2019」に昨年に続きブース出展しました。「ミニさっぽろ」は、子ども達を対象にした職業体験のイベントであり、JAバンクのブースでは各ブースからの依頼を受けて、給料を用意する仕事を体験してもらいました。

子ども達に仕事の大変さや楽しさ、そして金融の大切さを伝える機会を提供することができました。



### JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の

生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。10月発行分にはプレゼント付きアンケートもご用意しておりますので是非応募にもチャレンジしてみてください。



### ホクレン

GAP（農業生産工程管理）の推

進に向け、ホクレンは、農場評価の演習を盛り込んだ実践研修会を8月26～27日に札幌市内の学校法人・八紘学園北海道農業専門学校を会場に開催しました。参加者は道央圏のJA担当者・連合会職員など約10名で、日本生産者GAP協会の田上隆多事務局長を講師とし、農場評価制度の基本学習や会場となった同校農場にて実際の調査を演習しました。参加者の各組織での今後のGAP推進に期待しています。







## 安全な農作業のために確認しましょう！

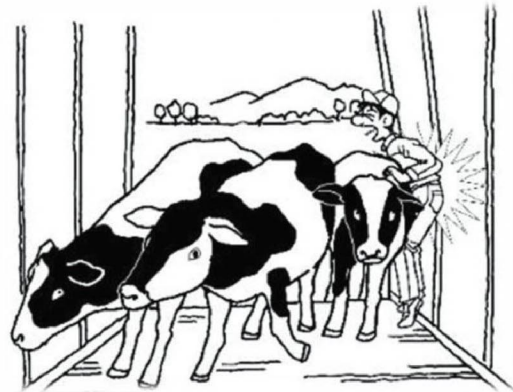
家畜による農作業事故は年々増加しています。特に搾乳作業と移動作業時の事故が多いのが現状です。以下のことを確認して、**安全第一**で作業を進めましょう。

### 搾乳事故への対策



- 牛の間に入るときは声をかける
- ゆっくり動く
- 大声を出したり走り回らない
- 甲高い声は出さない
- 搾乳する前から乳房に触れることに馴らす
- 安全靴や安全長靴の使用

### 移動時の事故への対策



- 牛舎内は明るく整理整頓されている
- 床に滑り止め資材（石灰など）を散布する
- 出っ張りや段差を無くす

- 牛と壁や柱の間に立たない
- 作業スペースを広く取る
- 人用の退避スペースを確保
- 無理な追い込みはしない

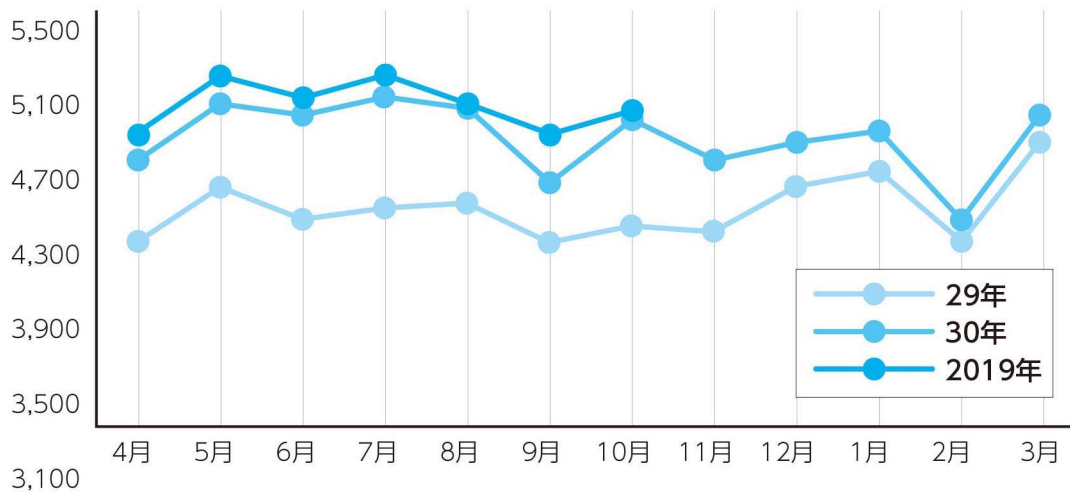


根室農業改良普及センターより、**安全な職場環境**を実践している農場は、**生産性が高い**ことが報告されています。

当地域でも、人にも牛にも優しい環境でさらなる生産性UPに取り組んでいきましょう！



# 生乳生産状況表



## ホクレン十勝家畜市場だより



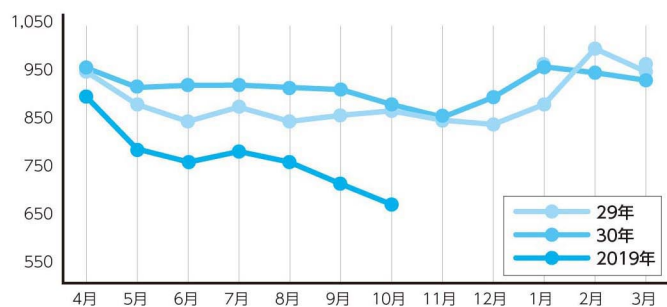
### 乳牛

- 売買頭数：713頭 (成立62.0%)
- 平均価格 (税込)：669千円 (先月比↓43、前年比↓202)

#### 相場予想

先月は、上場頭数の増加、府県の購買意欲の低下から平均価格は、弱含みで推移しました。今月は冬分娩に対する導入需要の増加は見込まれますが、依然として上場頭数が増加傾向にあるため、平均価格は横ばいあるいは弱含みで推移すると考えられます。

#### 乳牛市場〈初妊牛〉平均価格の推移



### 黒毛和種・F1

#### 結果速報

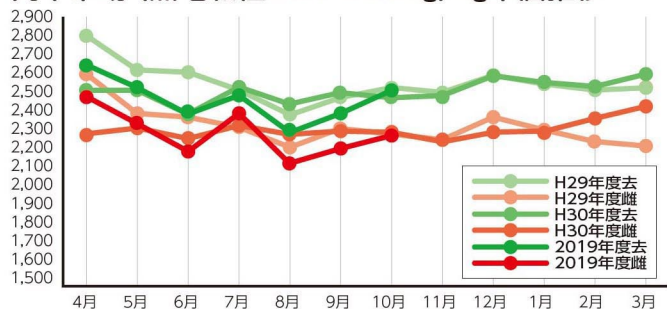
##### ● 売買頭数

- 黒毛和種去勢 **972頭** (成立94.4%)
- 乳用交雑種去勢 **894頭** (成立88.9%)
- 黒毛和種雌 **655頭** (成立92.1%)
- 乳用交雑種雌 **1,117頭** (成立94.6%)

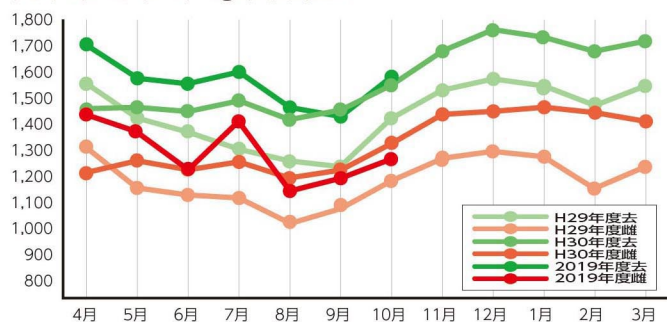
##### ● kg単価

- 黒毛和種去勢 **2,489円** (先月比 ↑105)
- 乳用交雑種去勢 **1,556円** (先月比 ↑138)
- 黒毛和種雌 **2,321円** (先月比 ↑83)
- 乳用交雑種雌 **1,259円** (先月比 ↑70)

#### 肉牛市場〈黒毛和種251-300kg〉kg単価推移



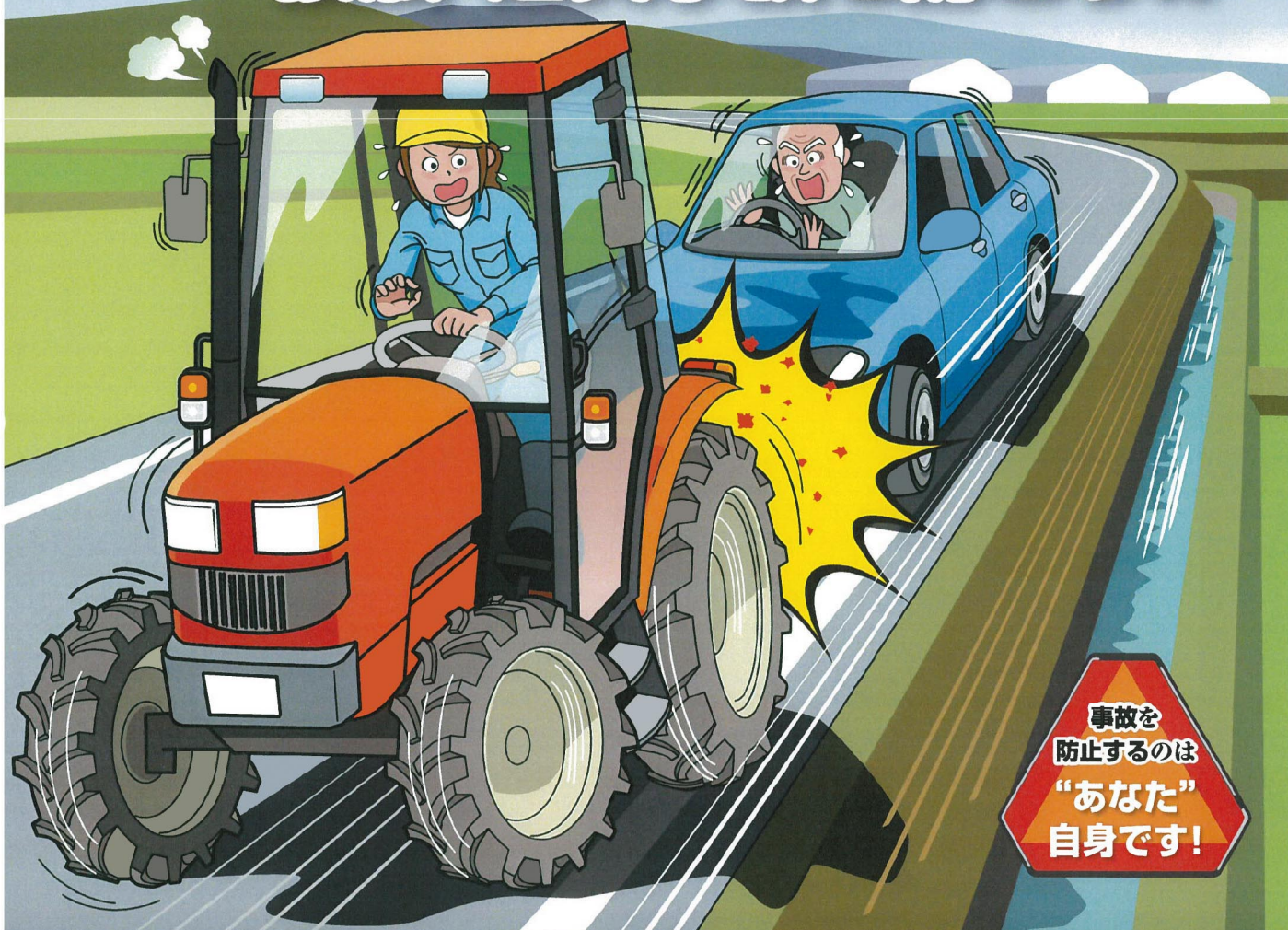
#### 肉牛市場〈F1〉kg単価推移







# 農業機械による公道での 接触・追突事故を防ごう!!



事故を  
防止するのは  
“あなた”  
自身です!

～なくそう死亡事故 ふせごう負傷事故～

- ⚠ 基本動作の徹底を忘れずに!
- ⚠ 先入観にはとらわれない!
- ⚠ 危険に気付いたら速やかに改善!

リスク低減・現場改善  
のヒントはこちらから  
農作業事故事例サイト 検索



<http://www.naro.affro.go.jp/org/brain/anzenweb/chousadb/chousadb.html>

## 北海道農作業安全運動推進本部

北海道 JA北海道中央会 JA北海道信連 ホクレン JA共済連 JA北海道厚生連 北海道NOSAI  
北海道農業公社 北海道農業機械工業会 北海道クボタ 中セキ北海道 ヤンマーアグリジャパン  
三菱農機販売 日本ニューホランド エム・エス・ケー農業機械 北海道農機商業協同組合

北海道農作業安全運動推進本部ホームページ <https://agr-anzen.jimdo.com/>

